



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 スター精密株式会社

コード番号 7718 URL <http://www.star-m.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 佐藤 肇

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 佐藤 衛

TEL 054-263-1111

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	28,059	△7.3	1,453	△47.2	1,708	△38.3	2,167	43.1
24年2月期第3四半期	30,284	21.3	2,752	397.9	2,767	761.3	1,514	—

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 2,160百万円 (120.1%) 24年2月期第3四半期 981百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	51.51	—
24年2月期第3四半期	35.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	51,161	37,977	73.1
24年2月期	51,924	36,980	70.2

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 37,380百万円 24年2月期 36,477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
25年2月期	—	15.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,900	△4.2	2,300	△41.8	2,500	△37.9	2,900	19.5	68.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期3Q	47,033,234 株	24年2月期	47,033,234 株
25年2月期3Q	4,957,879 株	24年2月期	4,957,248 株
25年2月期3Q	42,075,624 株	24年2月期3Q	42,802,702 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、米国経済は緩やかな景気回復が続きましたが、欧州経済は債務問題が継続するなど低調に推移しました。アジア経済は中国などを中心に成長のペースが鈍化しました。また、持ち直しの動きがみられたわが国経済も、世界経済の減速の影響を受けるとともに、為替も概ね円高水準で推移しました。

当グループの主要関連市場におきましては、工作機械事業の需要は欧州市場の低調に加え、成長が続いていたアジア市場なども減速気味となりました。特機事業では、米州市場や国内市場の需要は堅調に推移しましたが、欧州市場や中国市場では市況が悪化しました。また、精密部品事業では、腕時計部品は腕時計メーカーの生産調整の影響を受け、非時計部品も総じて需要が減少しました。

このような状況のなか、当グループでは欧米市場とともに、成長が見込まれるアジアや南米などの新興国市場を重視し、生産・販売体制の強化や新製品の開発などを進めました。工作機械事業では、国内は前半に自動車メーカーの生産の増加に伴い設備投資が堅調に推移し売上を伸ばしましたが、米国やアジア市場の売上は景気の減速などから前年同期並みとなり、また、欧州市場では債務問題の影響により、売上は大幅に減少しました。特機事業では、北米、南米や国内でPOS市場向けを中心にサーマル製品の売上を伸ばすことができませんでしたが、欧州や中国市場でドットインパクト製品の売上が減少したため、売上は全体としては前年同期並みとなりました。精密部品事業では、需要の減少に伴い、腕時計部品、非時計部品ともに売上は減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は280億5千9百万円(前年同期比7.3%減)となりました。利益につきましては、売上の減少などにより、営業利益は14億5千3百万円(前年同期比47.2%減)、経常利益は17億8百万円(前年同期比38.3%減)となりましたが、特別損益でタイの洪水被害に伴う受取保険金などを計上したことから、四半期純利益は21億6千7百万円(前年同期比43.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(特機事業)

小型プリンターの売上は、米州市場では北米での案件獲得や新興国向け新製品BSC10の投入などにより、サーマル製品が好調に推移しました。国内市場も、POS市場向けを中心にサーマル製品が売上を伸ばしました。一方、欧州市場では債務問題による影響を受け、アジア市場でも中国経済の成長鈍化などにより、ドットインパクト製品の売上が減少しました。

以上の結果、当事業の売上高は58億1千7百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益は2億1千2百万円(前年同期比57.5%減)となりました。

(コンポーネント事業)

当事業では、事業終息に向けて顧客への供給責任を果すため出荷を継続するなか、車載市場向けは自動車メーカーの生産増加や原材料の値上がりに伴う売価の改定などから売上は増加しました。

以上の結果、当事業の売上高は24億2千3百万円(前年同期比8.6%増)、営業損益は1億6千9百万円の損失(前年同期は8億2千1百万円の損失)となりました。

(工作機械事業)

CNC自動旋盤では、欧州市場は財政・金融問題の影響から需要が低調に推移し、中国経済にも不透明感が漂うなど、全般に減速しました。

このような状況のなか、国内市場は前半に自動車メーカーの生産増加があったことなどから、売上を伸ばしました。米国市場では、医療関連に加え自動車関連の設備投資が進み、売上は前年同期並みを確保することができました。アジア市場では、前半は東南アジアにおける自動車、自動二輪関連先などの設備導入が進んだものの、欧州の景気減速の影響を受けはじめ、売上は前年同期並みとなりました。また、主力の欧州市場は市況が低迷しており、売上は大幅に減少しました。

以上の結果、当事業の売上高は166億3千4百万円(前年同期比11.7%減)、営業利益は24億2千6百万円(前年同期比35.5%減)となりました。

なお、9月に開催された国際展示会IMTS 2012(米国)、AMB 2012(独国)、11月に開催されたJIMTOF 2012(日本)にてベストセラーモデルSRシリーズの新製品SR-20RIVを発表し、11月より販売を開始しました。また、SBシリーズ初のノンガイドブッシュ仕様であるSB-20RtypeNを発表しました。

(精密部品事業)

腕時計部品は、期初は堅調に推移しておりましたが、腕時計メーカーの生産調整の影響を受け、売上は減少しました。非時計部品でも、これまで堅調に推移していた海外のカーオーディオ向け部品の売上が後半にかけて減少し、小型ハードディスク駆動装置(HDD)部品の売上は、海外で増加したものの国内が減少したため、非時計部品の売上は減少しました。

以上の結果、当事業の売上高は31億8千4百万円(前年同期比4.0%減)となり、営業利益は4億3千5百万円(前年同期比33.4%減)となりました。

なお、前期洪水の被害を受けたタイ・アユタヤの生産拠点は、第2四半期連結会計期間末までに復旧しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は511億6千1百万円となり、前期末に比べ7億6千3百万円減少しました。資産は、たな卸資産や有形固定資産が増加したものの、現金及び預金や売上債権などが減少しました。負債は主に仕入債務が減少したため、前期末に比べ17億6千万円減少し、131億8千4百万円となりました。純資産は、配当金の支払いがあったものの、四半期純利益を計上したことにより、前期末に比べ9億9千7百万円増加し、379億7千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年9月27日発表の公表値を据え置いております。なお、今後、市場の動向など各種情報の収集に努め、業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,640,635	13,000,526
受取手形及び売掛金	9,849,556	8,577,506
有価証券	413,096	199,918
商品及び製品	7,038,252	9,295,926
仕掛品	2,458,476	2,267,962
原材料及び貯蔵品	1,882,077	1,504,211
繰延税金資産	178,854	187,757
その他	939,938	954,605
貸倒引当金	△98,702	△76,552
流動資産合計	38,302,185	35,911,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,546,363	4,586,759
機械装置及び運搬具（純額）	2,459,619	3,211,743
工具、器具及び備品（純額）	568,111	560,845
土地	2,614,327	2,874,469
リース資産（純額）	55,452	61,446
建設仮勘定	45,262	770,047
有形固定資産合計	10,289,136	12,065,311
無形固定資産		
その他	380,014	364,354
無形固定資産合計	380,014	364,354
投資その他の資産		
投資有価証券	2,041,300	2,047,224
繰延税金資産	301,598	296,250
その他	610,782	476,434
貸倒引当金	△60	△4
投資その他の資産合計	2,953,621	2,819,904
固定資産合計	13,622,772	15,249,570
資産合計	51,924,958	51,161,433

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,554,386	6,508,263
短期借入金	2,000,000	2,000,000
リース債務	18,315	22,341
未払法人税等	422,660	225,236
賞与引当金	702,890	468,074
役員賞与引当金	—	65,000
その他	3,840,114	3,560,845
流動負債合計	14,538,367	12,849,761
固定負債		
リース債務	39,245	41,296
退職給付引当金	33,150	38,281
その他	334,080	254,886
固定負債合計	406,475	334,464
負債合計	14,944,842	13,184,226
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,721,939	12,721,939
資本剰余金	13,876,517	13,876,517
利益剰余金	23,257,497	24,246,658
自己株式	△4,709,786	△4,710,277
株主資本合計	45,146,168	46,134,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,296	△32,558
為替換算調整勘定	△8,692,256	△8,721,732
その他の包括利益累計額合計	△8,668,960	△8,754,291
新株予約権	10,668	28,865
少数株主持分	492,238	567,794
純資産合計	36,980,115	37,977,206
負債純資産合計	51,924,958	51,161,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	30,284,820	28,059,993
売上原価	18,701,450	17,989,884
売上総利益	11,583,370	10,070,108
販売費及び一般管理費	8,830,741	8,616,423
営業利益	2,752,628	1,453,684
営業外収益		
受取利息	108,006	98,888
受取配当金	21,378	24,466
為替差益	—	41,246
受取賃貸料	42,030	47,101
特許収入	22,357	17,898
雑収入	42,453	59,022
営業外収益合計	236,227	288,623
営業外費用		
支払利息	8,108	8,685
有価証券売却損	675	7,265
投資有価証券評価損	53,801	—
為替差損	147,967	—
賃貸収入原価	5,138	16,332
雑損失	5,255	1,179
営業外費用合計	220,944	33,462
経常利益	2,767,911	1,708,845
特別利益		
固定資産売却益	156,666	34,991
投資有価証券売却益	—	525,000
貸倒引当金戻入額	8,591	—
受取保険金	—	963,331
特別利益合計	165,258	1,523,323
特別損失		
固定資産処分損	4,606	28,836
投資有価証券評価損	40,421	—
特別退職金	34,063	364,969
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	23,675	—
為替換算調整勘定取崩額	438,592	—
特別損失合計	541,360	393,806
税金等調整前四半期純利益	2,391,808	2,838,362
法人税、住民税及び事業税	670,045	570,090
法人税等調整額	135,051	23,965
法人税等合計	805,096	594,056
少数株主損益調整前四半期純利益	1,586,712	2,244,305
少数株主利益	72,236	77,022
四半期純利益	1,514,475	2,167,283

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,586,712	2,244,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△130,204	△55,855
為替換算調整勘定	△474,906	△28,151
その他の包括利益合計	△605,110	△84,006
四半期包括利益	981,601	2,160,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	919,407	2,081,951
少数株主に係る四半期包括利益	62,194	78,347

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。